

『ビジネス・アクセラレーション・プログラム 2019』受賞者

【最優秀賞】

■提案者：株式会社アクティベートラボ

- ◇ 提案タイトル：カラダが不自由な人が諦めなくて良い社会を作る
- ◇ 提案概要：身体障害部位と疾患でマッチングする身体障害者特化属性情報「ブイクン」をベースとした、身体障害者向けサービスを提供する。ファーストステップとしては、ポータルサイト事業者と提携し、マッチングエンジンを提供する障害者雇用事業を実現し、その後身体障害者に特化した検索エンジンの提供(ライセンス事業)やキュレーション事業にも展開を図る
- ◇ 期待される社会的インパクト：

1) 潜在需要・課題等

- 身体障害者は、国内で約 1,200 万人
- 障害者雇用義務企業は、国内に約 12 万社あるが、そのうち法定雇用率達成企業の割合は 45.9% (2018 年)で対前年比 4.1 ポイント減、逆に未達成企業の罰金支払額は増加
- 未達成の大きな要因は、法定施策が人数を規定するだけに留まり、そのための知識提供やフォロー体制などが未整備、結果、採用企業側の障害者に関する知識不足による偏見や誤解も多い

2) 提供サービス・技術等

- 身体障害者に特化した、障害の部位と職能のマッチングを自動化する検索エンジンの提供(直感的に属性情報選択と理解ができる UI「ブイクン」は特許取得済)
- 障害者雇用義務企業むけに、法定人数確保に留まらず、戦力として障害者を活用する視点に立った総合的なコンサルティングの提供
- インターネット情報と「ブイクン」情報のタグ付けやカテゴリズができるキュレーションサービスと、就業以外の様々な生活インフラ情報交換をサポートする身体障害者特化型 SNS「OpenGate」の提供

3) 想定される効果・貢献

- 身体障害者の QOL 向上(尊厳をもった働き方の実現)、障害者雇用義務企業の誤解による雇用機会損失の解消・罰金軽減、ならびに国や自治体の関連法執行の達成率の改善など三方良しの実現

【三菱総研賞】

■提案者：BionicM 株式会社

- ◇ 提案タイトル：義足ユーザーのモビリティを一変させるロボティック義足
- ◇ 提案概要：東大が世界をリードするヒューマノイドロボット技術を活用し、義足ユーザーの動作をサポートするパワーアシスト付ロボット義足を開発。市場の 99%を占める受動式義足が抱える課題(重量、バッテリー駆動時間、機能・デザイン性、価格等)を解決し、ユーザーの自由で安全な生活を可能にし、今後増加傾向の糖尿病等による下肢切断者の QOL 向上を目指す
- ◇ 期待される社会的インパクト：

1) 潜在需要・課題

- 世界で 1000 万人超とされる下肢切断者の約 7 割は 60 歳以上の高齢者。
- 受動式義足は市場の 99%以上を占めるが、疲れやすいなど身体的負荷が大きく、体力不足の高齢者は義足も利用できず寝たきりの生活を強いられることが課題

2) 提供サービス・技術等

- ロボット工学を応用し、身体的負荷が小さく、価格も抑えた高機能義足を開発。受動式義足が持つ課題(重量、バッテリー駆動時間、機能性、デザイン性、価格等)を解決し、義足ユーザーの自由、安全な生活、美しい歩き方につなげることが可能

3) 想定される効果・貢献

- 義足ユーザーの身体的・精神的負担を軽減し、モビリティ・QOL を向上
- 活動可能範囲を広げることで障害者雇用率の向上に寄与

【特別賞】

■提案者：株式会社フィッシュパス

- ◇ 提案タイトル:あの川の未来を創る遊漁券オンラインシステム『フィッシュパス』
- ◇ 提案概要: 遊漁券オンラインシステムを通して、釣り人の利便性を向上させ、漁業組合の収入に大きく貢献する。この機能は GPS と連動しており、オンライン上で釣り人の位置確認ができ、釣り人への防災安全の提供も含め、漁業組合の見回り業務や環境整備の生産性を向上させる。さらに、川だけでなく地域全体に GPS 連動を用い、観光などの地域情報をピンポイントで発信。川を守り・地方を豊かにするプラットフォームを拡大し、地域経済の活性化に寄与する
- ◇ 期待される社会的インパクト:

1) 潜在需要・課題等

- 川釣り人口は全国で 336 万人とされるが、川の保全には維持管理コストが必要
- 川の管理を行う漁協の資金源になる遊漁券の購入者は川釣り人口の半数以下とされており、漁協の資金不足が課題(全国の漁協で 25~30 億円の損失が発生)

2) 提供サービス・技術等

- 遊漁券のオンライン販売システムを構築し、チケット購入の利便性を向上
- その他、釣り人への防災安全の提供も含む漁場整備システム、釣り人向け保険
- 加えて川だけでなく地域全体に GPS 連動を用い、観光などの地域情報をピンポイントで発信

3) 想定される効果・貢献

- 遊漁券販売手数料が地元落ちること川の保全活動に充当が可能。2019 年 7 月時点で 34 箇所システムの構築・販売を通じて、システム提携先の収入向上に貢献
- 福井県 2 河川の実証数字 1680 万円をもとに、全国河川に展開すると、漁協収入及び地域消費も併せた経済効果として 23 億円が発生(福井県立大学調べ)
- 川を守り・地方を豊かにするプラットフォームを構築し、地域経済活性化に寄与

【その他ファイナリスト】

■提案者：KAICO 株式会社

- ◇ 提案タイトル: カイコによる医療品タンパク質の開発
- ◇ 提案概要: 九州大学の独自カイコを利用し本発現系による医薬品タンパク質生産プラットフォームを構築。本プラットフォームにより目的タンパク質の発現系を企業や研究者が身近・手軽に研究開発に利用できるよ

うになり、開発後には大量生産も可能となる。多くの開発パートナーと新しい医薬品・診断薬・試薬の開発を目指す

◇ 期待される社会的インパクト:

1) 潜在需要・課題等

- マラリアや HIV 以外にも WHO が指定する 18 種類の感染症疾患「顧みられない熱帯病」の患者数は年間 15 億人超となる見込み
- パンデミックや未知の疫病が世界の何処かで発生した時には、常にその感染恐怖にさらされる。その際には、治療薬または予防ワクチンが必要

2) 提供サービス・技術等

- 九州大学で独自に維持・管理してきたカイコを利用し、組換えタンパク質の発現・生産プラットフォームを構築。ワクチンの原料となる希少なタンパク質を作ることが可能
- 目的タンパク質の発現系を企業や研究者が身近・手軽に研究開発に利用できるようになり、開発後に大量生産も可能

3) 想定される効果・貢献

- 多くの開発パートナーと新しい医薬品・診断薬・試薬の開発を可能とし、人々からパンデミック時の感染恐怖を和らげることに貢献

■ 提案者: 株式会社クオンタムオペレーション

◇ 提案タイトル: 継続的に複数バイタルデータ取得実現イノベーション

◇ 提案概要: 血糖値なども測定可能な次世代バイタルバンドの開発を行っている。独自の光センサーにより、様々な体内データを取得することが可能である。中国深センの海外企業を束ね、「深センサプライチェーン」をコントロールし、品質が高く、通常より安価での開発を実現

◇ 期待される社会的インパクト:

1) 潜在需要・課題等

- 糖尿病の患者は世界で約 4.3 億人であり、今後も増加見込み
- 日本では糖尿病患者数は 850 万人で 65 歳以上の患者数は過去最多の約 450 万人
- 糖尿病患者は継続的な血液検査(注射)が必要であるが、経済的・身体的負担が大きく、未病～中度の対象者は実施できていない現状
- 日本は医療カルテ情報の電子化およびデータベース化が遅れており、とくに過疎地域では、救急体制や交通手段等の問題から非常時の生存リスクや通常時の予防医療に課題有

2) 提供サービス・技術等

- 現在開発中のウェアラブルデバイス内蔵センサーにより、血糖値を含む複数のバイタルデータを自動的に継続的に取得することが可能
- 取得データのデータベース化により、症状の重度や居住区域にとらわれない健康管理を実現

3) 想定される効果・貢献

- 非侵襲小型血糖値センサーにより、血糖値測定のための注射は不要で、注射はインシュリン投与のみとなることから、経済的・身体的負荷を大幅に軽減
- 重度患者に対しては、遠隔からのモニタリングやアドバイスが可能となり、これまで計測できていなかった未患者や軽～中度患者に対しては、未病や重度化の予防ができ、地域間医療格差の解消、医療費節減等に貢献

■ 提案者: Seak 株式会社

◇ 提案タイトル: 農業フランチャイズモデル『LEAP』

◇ 提案概要: 農業経営に必要な全てのステップ、農地開拓・資金確保・設備構築・栽培・販売を一括でパッケ

ージとして提供する農業フランチャイズモデル。先端施設園芸に関わらず初期費用・負債がゼロで、即日参入が可能。さらに所得の保証制度も導入し、ユーザーにとっての付加価値向上も図る

◇ 期待される社会的インパクト:

1) 潜在需要・課題等

- 全国の農業就業人口は 168 万人(2019 年)で、昨年より 7 万人減少する一方、新規就農数は 5.6 万人(2018 年)。就農者不在による耕作放棄地は年々増加し、全国で 42.3 万 ha(2015 年)に増加
- 今後高齢化による担い手不足が一層進むなか、新規就農者の増加は喫緊の課題だが、技術習得期間の長さ(約 10 年)や農地・施設・資材確保、事業成立のための収入の低さ等がネック

2) 提供サービス・技術等

- 農業(施設園芸)に必要な設備(ハウス・土・苗)及びノウハウをパッケージで提供し、一区画 3000 m²で土地も用意(耕作放棄地を活用)。これにより初期コストは 0 円で農業への新規・即日参入が可能
- 農作物は全量買い取り、月額 23 万円を最低保証するなど新規就農の不安定性をカバーする仕組みを構築

3) 想定される効果・貢献

- 農業人口の減少・高齢化に対して新規就農を増やすとともに、耕作放棄地を有効活用
- 園芸施設の所有と運営を分離して、生産性と規模の集約を飛躍的に向上

■ 提案者: 株式会社ディーピーエス

◇ 提案タイトル: DualPore 技術による低濃度残留金属の高速リサイクル事業

◇ 提案概要: 独自開発の DualPore 粒子によって、高性能高速吸着を実現し、従来方法では困難な低濃度残留貴金属・重金属を効率的に回収することができる。これにより、回収が困難であった都市鉱山の資源リサイクルを実現する。鉱物資源の少ない日本が、資源リサイクルを行うことで、資源循環型社会を通じた資源大国となりうる

◇ 期待される社会的インパクト:

1) 潜在需要・課題等

- 近年都市鉱山として家電等からの金属リサイクルが進みつつあるが、低濃度残留金属回収は技術的に非常に困難であり、一般製品に残留、もしくは未回収廃液のままリサイクルされていないものが多いことが課題
- プラチナ・パラジウム・ロジウム市場だけでも、リサイクルされていない金属の価値を試算すると、日本で 3700 億円相当、世界では 2 兆 8000 億円に相当

2) 提供サービス・技術等

- 同社独自開発の DualPore 粒子は、高性能高速吸着を実現し、従来方法では困難な低濃度残留貴金属・重金属を効率的に回収することが可能

3) 想定される効果・貢献

- プラチナ・パラジウム・ロジウム市場だけでも、吸着、回収できる分は日本で 20 億円相当、世界で 150 億円に相当
- 鉱物資源の少ない日本が、資源リサイクルを拡大することで、資源循環型社会の構築に貢献

以上